

発行：大学 e ラーニング協議会 広報委員会  
委員長：福村 好美（長岡技術科学大学）

## 1. 会長 ご挨拶

会長 岡本 敏雄（電気通信大学）

大学 e ラーニング協議会も、発足して3年が経ちました。会員になって頂いた大学も32大学、賛助会員も3社になりました。文部科学省の競争的資金である現代 GP の中で“e-Learning”というキーワードが付けられたプロジェクトで採択された大学が中心となり、大学の教育改革において継続的な取り組みをしようという固い意志で集まったわけです。

e-Learning は教育の手段ですから、これを活用することによって、確かな教育効果、メリットが教職員、学生に感じられなければなりません。そういったことの情報、コンテンツ、運用方法、そして知恵や意識を共有するために集まった大学群です。

これからの我が国、少子高齢化が進行し、同時に大学教育がエリートからマスに、さらに社会人へと、謂わば“e-Learning for all”といった視点で、教育をサービスしなければならない時代に入ったわけです。こういった動向を十分に認識しつつ、加盟大学の経験知を出しながら、より質の高い高等教育が実現できればと願います。さらに新規に加盟していただける大学を期待いたします。

## 2. 2012 年度代表幹事校 ご挨拶

2012 年度代表幹事校  
関西大学 冬木 正彦

2012 年度は、関西大学が大学 e ラーニング協議会の代表幹事校を務めます。

予測が困難な時代を生き抜くことができる問題解決能力を有する人材育成という点において、日本の大学の教育実態は深刻な問題を抱えています。3月26日に公開された中央教育審議会大学教育部会の審議まとめでは、質の高い学士課程教育を実現するためには、授業の受講と授業の事前の準備、事後の展開による主体的な学びが重要であり、十分な質を伴った学修時間を実質的に増加・確保させることが緊喫の課題とされています。

本協議会の加盟大学は、eラーニングを中心にICTを活用した教育について日本の中では先駆的に取り組んできた実績を持っているので、今までに得られた失敗も含めた幅広い経験や知識を上記の課題解決に活かすことができると考えています。従来からフォーラムなどの事業の中で加盟大学間での情報交換を行い、他大学や関係者に対する情報発信を行ってきましたが、本年度はさらにこれらの活動が活性化できるよう事務局に支援していただきながら幹事校として活動していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

### 【2012 年度 運営体制】

- 会長：岡本敏雄（電気通信大学）
- 代表幹事校：関西大学      ■監査校：大手前大学      ■事務局校：千歳科学技術大学
- 幹事校：金沢大学 関西大学 熊本大学 佐賀大学 信州大学 帝塚山大学  
電気通信大学 長岡技術科学大学 大手前大学 千歳科学技術大学

### 3. 総会・フォーラム 2011 開催報告

2011 年度代表幹事校  
熊本大学 喜多 敏博

2012 年 3 月 16 日（金）熊本大学 黒髪南地区で、総会・フォーラム 2011 が事務局および金沢電子出版からの全面的な協力を得て開催されました。北海道から九州までの全国の大学から 60 名以上の方に参加していただきました。

総会に先立ち、午前中には幹事会が開催され、大学 e ラーニング協議会としての取り組みをどのように充実させていくか等についての話し合いが行われました。

午後から工学部百周年記念館にて開催された総会では、予算・決算承認、活動報告などのほか、今後の活動についての議論も行われました。

引き続き開催されたフォーラムでは、冒頭、熊本大学の山中副学長の挨拶があり、岡本会長からのメッセージの紹介の後、基調講演 1 として、文部科学省高等教育局の高橋浩太郎氏による「高等教育行政と e ラーニング」が行われ、高等教育に関する現在の中教審の審議状況や e ラーニングを巡る制度の変遷や構造改革特区の影響などについてご紹介いただきました。

さらに基調講演 2 として、ビジネス・ブレイクスルー大学の宇野令一郎氏による「ビジネスリーダー養成のためのオンライン大学の設計と取組」が行われ、オンライン大学経営学部のカリキュラム・授業設計開発・学習システム・学習支援の取り組みやそれを支える組織と人材について、成功事例・失敗事例の両面からご紹介いただきました。両基調講演とも、具体的かつ示唆に富むご講演であり、終了後は、参加者からの活発な質問を基に充実した議論が行われました。

その後、3 会場にわかれて 15 件の個人研究発表・個別事例発表が行われました。各大学での実践で得られた知見を中心とする発表であり、各会場とも、それぞれの発表事例から今後 e ラーニングの実践を進めていくための貴重な情報を得て、互いに学ぶことの多いセッションになりました。

個人研究・個別事例発表に続いて、再び会場を工学部百周年記念館に戻し、第 1 部会、第 2 部会、第 3 部会の 3 件の報告がなされました。

第 1 部会報告では、関西大学から、CEAS のユーザインターフェイスを基にした Moodle 用授業支援型ユーザインターフェイスモジュールの評価の状況について説明があり、酪農学園大学と山梨大学から利用準備状況を含めた報告、熊本大学から各大学でのシステム連携の状況について報告がありました。

第 2 部会報告では、佐賀大学、信州大学から大学おけるポートフォリオのあり方、活用方法についての検討結果の報告がありました。

第 3 部会では、千歳科学技術大学から大学間連携クラウドを用いた基盤教育教材の共有実験の提案があり、教材の共有実験の継続と共通基盤教材のショーケース整備について説明がありました。

最後に、ラウンドテーブル・総括では、加盟大学から各大学における e ラーニング活用の現況報告をしていただき、フォーラムは締めくくられました。

フォーラム終了後、マイクロバスで移動して別会場で 40 名程の参加者を得て懇親会が開かれ、熊本の郷土料理懐石を楽しみながら、各自の席をしばしば外しての活発な意見交換、歓談が行われました。



フォーラム



懇親会

## 4. 連載企画「加盟大学の取組紹介」

### 第1回 国際医療福祉大学大学院

「国際医療福祉大学大学院における社会人学生教育への取り組みを支える

遠隔授業システムとeラーニングシステム」

国際医療福祉大学大学院（以下、当大学院）は、我が国の保健・医療・福祉の分野において指導的な役割を担う高度専門医療職の育成を目指し、平成11年に開設された大学院です。このような実践的な大学院教育は、実際に現場で働いている社会人にこそニーズが高く、当大学院でも社会人学生に学びやすい環境の整備を進めて来ました。その結果、例年多くの社会人学生が入学し、平成24年5月1日現在、在校生615人のうち556人（90.4%）が社会人学生として学んでいます。本稿では、その社会人学生教育への取り組みを支える遠隔授業システムとeラーニングシステムについて紹介します。

当大学院は全国7つのキャンパス（栃木県大田原市、東京都港区、神奈川県小田原市、静岡県熱海市、福岡県福岡市、福岡県大川市、熊本県熊本市（サテライト））より構成されています（図1）。遠隔授業システムは、どのキャンパスからも同じ授業を受けられるよう、これらのキャンパスを双方向遠隔会議システムで結んだものです（図2）。社会人学生にとって生活環境を変えることなく身近な場所で学習ができるように、との考えで、大学院開設翌年の平成12年には導入が始められたこの遠隔授業システムは、その規模を徐々に拡大し、現在では7キャンパス27教室の他、2附属病院（栃木県那須塩原市、東京都港区）、学部4キャンパス6教室の、全体で9拠点35教室を結ぶ大規模なシステムとなりました。現在、当大学院のほとんどすべての授業は、その科目を履修する学生の所属するキャンパスに合わせ、遠隔授業システムを使って実施されています。

この遠隔授業システムに加え、社会人学生にとっての学習の利便性をさらに高めるために、平成19年よりeラーニングシステムを導入し、Webベースのeラーニングを開始しました。このeラーニングシステムは、科目の管理や教材の掲載、テストの実施といった一般的な学習管理機能の実現に加え、遠隔授業システムとの強い連携を目指し、導入されました。すなわち、遠隔授業システムによる授業の音声や映像を、eラーニングシステムを通してインターネット同時中継し、データとして保存してeラーニングシステムのVOD教材として利用できるように構築しました。当初は大学院独自のシステムとして構築しましたが、機能の増強などの理由で平成22年にMoodleをベースとするシステムに移行した結果、広く大学院内で利用されるようになりました（図3）。資料配布などごく一部の機能の利用も含め、平成23年度は59科目、平成24年度は90科目がこのeラーニングシステムを利用しています。

まとめると、この2つのシステムによって学生に次のような学習の機会を提供し、社会人を中心とする当大学院の学生の学習を支援しています（図4）。

- 1) 遠隔授業システムによる通常の授業
- 2) 通常の授業をインターネットでも同時に中継し、どこからでも学習できる機会の提供
- 3) 通常の授業を収録した映像をVODとして公開し、いつでもどこからでも事後学習できる機会の提供
- 4) 専用の教材によるeラーニング

中でも特徴的な取り組みを行なっているのが、総会・フォーラム2011でも紹介した診療情報アナリスト養成分野の専門科目です。この分野は、日本で唯一の社会人診療情報管理士向けの大学院教育を実施しており、キャンパスから遠く離れた社会人からの入学希望も多い状況です。その要望に対応するため、実習を除いたすべての専門科目の教室での授業をVOD教材とし、eラーニングシステム上で事後学習できるよう公開しています。更に、授業映像をただ公開するだけでなく、授業中の質疑応答や議論に合わせて授業映像を編集し、意見を問う問題や知識を確認する問題を挿入するなどして、教育効果を高めるよう工夫もしています。この取り組みによって残業や出張などでやむを得ず欠席した場合でも教室に出席するのと同様に学習できるようになり、学生の反応が非常に良い取り組みとなりました。

また、学外での実習に臨む学生のために、実習についての振り返りや教員との綿密な連携のために、Webによるレポートシステムを試験的に運用しています。看護師特定能力養成調査試行事業に取り組む

### 国際医療福祉大学大学院



篠原 信夫



藤井 稔也

ナースプラクティショナー養成分野では、附属病院や協力病院においての実習にあたり、このレポートシステムを利用した毎日の振り返りによる教育の実施を目指し、試験運用をふまえた最終的な調整を行っています。

一方、今までの大学院の発展の経緯より、当大学院ではeラーニングシステム以外にも掲示板システムや履修登録システムなど、様々なコンピュータシステムに機能が分散しています。そのため、学生や教職員が複数のユーザIDとパスワードを持つなど、使い勝手の悪い部分も多く残されています。これらの問題を解決し、一連のシステム群を総合的に管理するために、シングルサインオンの実現とログの集中管理が当面の課題であり、実現に向けて取り組んでいるところです。



図1. 国際医療福祉大学大学院の7つのキャンパス



図2. 遠隔授業システムによる授業の様子



図3. eラーニングシステムの画面例

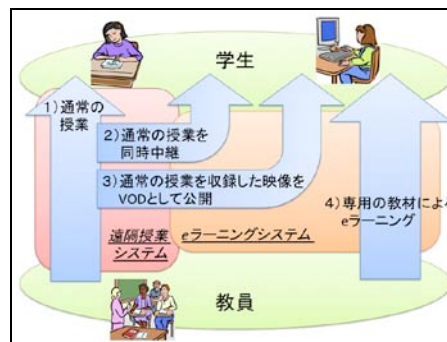


図4. 2つのシステムによる学習の支援

## 5. 2012年度協議会全体ミーティングのご案内 ※別途ご案内をお送りいたします

■日時 2012年8月21日(火)

※8/22(水)～8/24(金)の日程で、「教育システム情報学会(JSISE)全国大会」が千葉工業大学で開催されます。この日程に合わせました。

全体ミーティング 13:00～17:15

情報交流会 17:30～19:30

■会場 創価大学 (東京都八王子市丹木町1-236)

■次第 10:30～12:00 幹事校ミーティング

13:00～17:15 会場校事例紹介、全体ミーティング、部会ミーティング(予定)

17:30～19:30 情報交流会

※幹事校については、10:30～12:00で幹事校ミーティングを予定しております。

## 6. 2012 年度事業予定

### ①協議会全体ミーティングの開催(夏期) ※前掲

### ②「e-Learning Awards 2012 フォーラム」への後援

開催時期：2012 年 11 月 28 日（水）～30 日（金）

会 場：UDX Gallery（東京 秋葉原）

#### ・上記フォーラム内での、公開フォーラムの開催

開催時期：2012 年 11 月 28 日（水）～30 日（金）

開催内容：当協議会による発表会を開催予定

会 場：UDX Gallery（東京 秋葉原）

### ③総会・フォーラム 2012 の開催

開催時期：2013 年 3 月 15 日（金）※予定

会 場：関西大学

## 7. 事務局からのご案内

### ■受賞のお知らせ

大阪大学の福井希一教授と関西大学の冬木正彦教授が、平成 24 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞（理解増進部門）を受賞されました。「国際競争力に資する専門英語教育システムの開発及び普及啓発」が受賞業績です。

### ■会費納入のお願い

2012 年度、会費未納の機関は、納入をよろしくお願いたします。

振込口座 銀行名：北洋銀行 支店名：千歳中央支店 口座番号：普通 4126901

口座名義：ダイクイーラーニングキョウギカイ

大学 e ラーニング協議会

### ■加盟大学イベント案内

加盟大学主催のフォーラム等の案内を当協議会ホームページ上でご案内させていただいております。掲載を希望する大学は事務局までご連絡下さい。

加盟大学イベント案内 URL <http://www.uela.org/src/activity/activity.html>

※協議会加盟大学の皆様が学会表彰を受けられたニュース等もニューズレターに掲載させていただきたいので、情報がございましたら是非お寄せください。

### 大学eラーニング協議会ニューズレター NO.5

2012 年 7 月 1 日 発行

事務局：千歳科学技術大学 教育連携推進課

〒066-8655 北海道千歳市美々758 番地 65

TEL: 0123-27-6044 FAX: 0123-27-6007

<http://www.uela.org/> E-mail: [uela-office@uela.org](mailto:uela-office@uela.org)